

◆参加報告◆

研修会に参加しました！

老川 広之

2019年7月26日、27日に開催された第26回日赤図書室協議会研修会に参加しました。図書室担当となってから初参加、緊張感を広尾に向かう車両内で漂わせながら会場である日本赤十字社看護大学広尾キャンパスへと重い足を運ぶ……広尾駅に降り立つのは10数年ぶり、凜とした静かな空気が漂う高級住宅街広尾ガーデンヒルズ・ガーデンフォレストを抜け会場へ到着。猛暑のせいか緊張感からかわからない汗を拭いながらいざ初日！

1日目はコンソーシアムの提案説明が紀伊国屋書店、医学書院、WoltersKluwerの各担当者からありました。内容を理解するにはハードル、コストが高すぎて予算を獲得するための幹部への説明がどこの図書室担当者も抱えている悩みだと思います。そして後半、今回楽しみにしていた北里大学白金図書館の見学です。実は私、図書館に行った記憶は確か小学校5年生、40数年前（あっ、年がばれる）で図書館とは縁が遠い存在でした。病院図書室の担当となって経験していく中、図書館に興味が少しずつですが湧いてきたそのタイミングで今回の見学となりました。

北里大学白金図書館に一步踏み入れるとそこは厳粛な空気が流れる異空間……夏休みと

いうことで学生は数人でした。間接照明や空気の循環など近代的で利用者にとって、とても良い環境となっていました。司書の方に館内を案内していただき、時に古い書物などの保管場所ではタイムスリップしたような感覚に襲われました。大学の図書館と当院の図書室では比較にならない規模ですが利用者に対するより良い環境を整備していけたらと思います。

続いて大学の敷地内にある北里柴三郎記念館と東洋医学総合研究所を見学し、初日の研修会は終了となりました。

2日目は日赤図書協議会総会と公開講座が行われました。総会では「教育・研修」「雑誌・編集」「ホームページ」「コンソーシアム」「統計調査」「製本雑誌共同保管」の各委員会の活動報告並びに活動計画が報告され、令和元年度予算が承認、閉会となりました。

公開講座では、聖隷浜松病院、静岡県立静岡がんセンター、聖隷佐倉病院の図書室、図書館の講師の方々からの講座を受講、特に初心者である私には難しながら、ためになる講座となりました。

2日間をとおしてとても有意義な研修となり学ばせていただき有難うございました。参加者総数が50名を超える研修会を継続して企画、運営してゆくことの苦労は想像し難いですが、事務局並びに幹事の皆様大変ご苦勞様でした。

OIKAWA Hiroyuki

さいたま赤十字病院 情報システム課図書係
TEL: 048-852-1111(代) FAX: 048-856-0605
library@saitama-med.jrc.or.jp